

# 日本史 B

(解答番号  ~ )

**第1問** 次の文章A・Bは、大学生Kとその友人Hの日記の一部である。この文章を読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 16)

A Kの日記 1月20日

大学の日本史の授業で「歴史研究と史料」というレポート課題が出される。「史料としての日記」というテーマを思いつく。歴史を学ぶと日記が時々登場するからだ。Hといっしょに取り組みたいものだ。

手始めに歴史の辞書類を調べた。日本の日記の歴史は思ったより古い。すでに①『日本書紀』には、官人の日記とされる文章が引用されている。7世紀後半に②  に派遣された伊吉博徳いぎのはかどの記録などがそれだ。現存する最古の自筆日記は、 の『御堂関白記』らしい。 の「此の世をば我が世とぞ思ふ望もち月のかけたることも無しと思へば」という和歌も、同時代の藤原実資さねすけの日記『小右記』に記されて伝わった。

このような貴族の日記をはじめ、日本には日記が多く残されている。たんにその日の出来事を書くだけではなく、私的な感情や批判を書く場合も少なくない。

その形式もさまざまであったようだ。『御堂関白記』は、日ごとの干支や吉凶などが記してある暦の紙面に、筆者が書き込んだものだった。今、書店で売られている日記帳は、日々の体験を書く行為の広がりとともに、③印刷と出版が普及したことの結果であるが、分厚いものから小さなサイズのものまで、じつに多くの種類が見られる。

日記にも歴史があることがわかった。調べてみると面白い。Hは歴史好きだ。こんな話をすればきっと日記に興味をもってくれるだろう。

問 1 空欄   に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 唐 イ 藤原道長
- ② ア 唐 イ 藤原頼通
- ③ ア 宋 イ 藤原道長
- ④ ア 宋 イ 藤原頼通

問 2 下線部②に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 『日本書紀』は、神話からはじまり、聖武天皇の時代までの出来事を記している。

Y 『日本書紀』など、古代の歴史書を研究した津田左右吉は、『古事記伝』を著した。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

問 3 下線部③に関連して、印刷・出版に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 鎌倉時代、律宗の僧侶は五山版とよばれる漢詩文集、仏典などを刊行した。
- ② キリスト教宣教師がもたらした活字印刷機で、キリシタン版(天草版)が出版された。
- ③ 享保の改革では、洒落本が取り締まられ、山東京伝らが処罰をうけた。
- ④ GHQ は、戦時中の言論統制を否定し、占領政策を批判する自由を認めた。

## 日本史B

### B Hの日記 1月23日

Kから日記の話を聞いた。日記といえば、紀貫之の『土佐日記』のような、で書かれた日記について調べればよいと思っていた。ところが、もっと広く考えなければならないようだ。古代から、役所ではのちの参照に備えて職務日誌がつけられ、これらも日記とよばれた。鎌倉幕府の歴史書『』も、幕府内部のこのような記録や貴族の日記などを参照しているらしい。

一方、江戸時代の村には、庄屋の日記などが残されている例がある。それらには、◎人々の暮らしに直結する災害や米価の変動など、村や家を継ぐ子孫に伝えるべき経験や歴史も記されている。このように日記には、多様な情報が盛り込まれており、当時の社会や生活をうかがう重要な手がかりになる。だから歴史研究の史料にもなるわけだ。

自分の気持ちを率直に書いている日記の場合でも、他人の目を意識していることがある。たとえば①自由民権運動に参加し、女性の地位向上につとめた岸田俊子は、他人が自分の日記を見れば「無学無識」をあざけるだろうが、「吾は死後われの名は少しも思い煩うものにあらず」と書いている。彼女はのちに自らの日記が読まれることを想定しているようだ。

日記はたしかに重要な史料だ。書かれた内容だけでなく、書いた人の境遇や、書かれた時代にも目を向けていくと、もっといろいろなことがわかってくるだろう。

問 4 空欄   に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウ 漢文    エ 愚管抄
- ② ウ 漢文    エ 吾妻鏡
- ③ ウ かな    エ 愚管抄
- ④ ウ かな    エ 吾妻鏡

問 5 下線部㉓に関連して、米の生産や価格に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① 弥生時代前期の水田は乾田中心であったが、後期には湿田の比重が高まった。
- ② 奈良時代、多収穫米の外来品種である大唐米が、日本列島全域に普及した。
- ③ 民衆が米価の高騰に苦しむなか、幕政を批判して大塩平八郎が武装蜂起した。
- ④ シベリア出兵を見越した米の買い占めで米価が暴落し、米騒動が起こった。

問 6 下線部㉔に関連して、女性と社会のかかわりに関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 6

- X 学制公布直後から、女子の就学率は男子とほぼ等しかった。
- Y 市川房枝らが新婦人協会を結成し、女性の政治参加を主張した。

- ① X 正      Y 正                      ② X 正      Y 誤
- ③ X 誤      Y 正                      ④ X 誤      Y 誤

## 日本史B

**第2問** 原始・古代の漆と香の文化に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)  
(配点 16)

A “japan”ともよばれてヨーロッパで珍重された漆の製品は、日本の伝統的な工芸品である。漆の利用は古く、縄文早期の遺跡から赤色漆塗りの製品が出土している。漆は塗料のほか、接着剤としても使用された。縄文を施した土器や、人間を模した造形の **ア** などとともに、漆製品は縄文時代の文化を代表する。

奈良時代には、漆を用いた乾漆の技法によって多くの仏像がつくられた。**イ** はその一例である。また、各地の漆を使用した工房跡などから、漆液が染みこんで硬化し、土中で分解されずに残存した紙が出土している。これは容器に入れた漆の乾燥を防ぐための蓋紙ふたがみで、おもに役所で不要となった文書が再利用された。③ 漆液の染みこんだ文書は漆紙文書とよばれ、古代史研究の貴重な史料である。

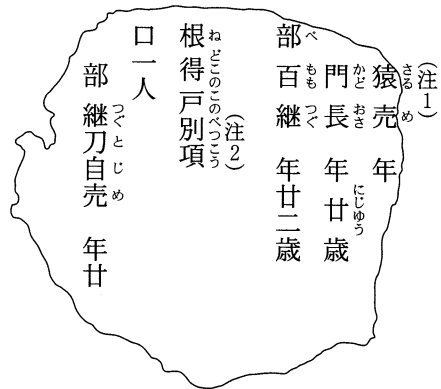
平安時代には、螺鈿や蒔絵などの技術も確立し、調度品や建物を装飾した。また赤色漆を塗った食器は「朱器しゆき」とよばれ、藤原冬嗣が所有していたとされる朱器は、④ 藤原氏の氏長者に代々伝えられて、権力の象徴ともなった。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **7**

- ① ア 土 偶      イ 法隆寺百済観音像
- ② ア 土 偶      イ 東大寺法華堂不空羂索観音像
- ③ ア 埴 輪      イ 法隆寺百済観音像
- ④ ア 埴 輪      イ 東大寺法華堂不空羂索観音像

問 2 下線部②に関連して、多賀城跡から出土した次の史料(漆紙文書)に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 8

史料 多賀城跡出土の計帳の一部 \* 上下左右が欠けている。



(注1) 猿売：人名。名前の末尾に「売」がつくのは女性。  
 (注2) 別項：戸の人数に変動があったことを示す記載。

X 「猿売」は女性なので、調・庸を負担しなかった。  
 Y 計帳を使った支配は、東北地方にまでおよんでいた。

- |           |           |
|-----------|-----------|
| ① X 正 Y 正 | ② X 正 Y 誤 |
| ③ X 誤 Y 正 | ④ X 誤 Y 誤 |

問 3 下線部⑥に関連して、平安時代の藤原氏について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 9

- ① 冬嗣は桓武天皇から蔵人頭に任じられ、のちの摂関家の基礎を築いた。
- ② 良房は他氏を退けるとともに、臣下ではじめて摂政の任についた。
- ③ 忠平は醍醐・村上両天皇の摂政・関白となって実権を握った。
- ④ 頼長は源義朝と結んで平治の乱を起こしたが、平氏に討たれた。

## 日本史B

B 漆は日本列島内に産するが、香木などの香の原料はおもに熱帯アジア原産で、6世紀の仏教伝来とともに日本に伝わったとされる。法隆寺に伝えられていた香木には、7・8世紀の中央アジアの商人が使用したソグド文字の印やパフラヴィー文字が刻まれており、㉔アジアに広がる香の交易が想定できる。原産地からソグド商人らの手を経て中国や朝鮮半島にもたらされ、外交使節や商人らによって、日本に伝えられたのである。

平安時代、香は陶磁器などと並ぶ高価な輸入品であったが、㉕仏教の儀式や、貴族の生活のなかでさかんに用いられた。交易はおもに㉖九州の大宰府を通じて行われ、貴族らも九州へ使者を派遣して、来航した中国商人らから競ってこれを購入した。日本からは、金や水銀、硫黄、漆器などが輸出された。

- 問 4 下線部㉔に関連して、奈良時代の貴族らが、来日した新羅の使節団から購入しようとした品目を書きあげた次の史料(現代語訳)に関して述べた下の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。

10

## 史料

合わせて 23 種

(中略)

<sup>くんろく</sup>薰陸(注1)15斤(注2)

<sup>にんじん</sup>人參(注3)4斤

<sup>かりろく</sup>呵梨勒(注4)200顆(注5)

(中略)

用意した代価は綿(注6)500斤、糸30斤

以上、購入したい新羅物と用意した代価などは、上記の通りです。謹んで申し上げます。

天平勝宝4(752)年6月23日

- (注1) 薰陸：薰陸香。インド等原産の香料。  
 (注2) 斤：重さの単位。  
 (注3) 人參：朝鮮半島原産の薬物。  
 (注4) 呵梨勒：東南アジア原産の薬物。  
 (注5) 顆：個数を示す単位。  
 (注6) 綿：真綿。繭から作られた綿。

- a 新羅は、香の中継貿易を行っていた。  
 b 新羅とのこの交易の代価は、錢貨であった。  
 c この文書が作成された頃、朝鮮半島では新羅・高句麗・百済が分立していた。  
 d この文書が作成された頃、東大寺では大仏の開眼供養の儀式が行われた。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d



## 日本史B

問 5 下線部㉔に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 11

X 唐に渡って密教を学び、帰国後、天台宗の密教化を進めた。

Y 念仏による極楽往生の教えを説いた書で、源信(恵心僧都)が著した。

a 玄 昉      b 円 珍      c 『往生要集』      d 『日本往生極楽記』

① X — a      Y — c                      ② X — a      Y — d

③ X — b      Y — c                      ④ X — b      Y — d

問 6 下線部㉔に関連して、大宰府にかかわる出来事に関して述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 12

I 刀伊(女真人)が九州北部に来襲したが、大宰権帥の藤原隆家によって撃退された。

II 政府は九州北部の要地を防衛するために、水城や大野城を築いた。

III 右大臣の菅原道真是失脚し、大宰権帥に左遷されて任地で死去した。

① I — II — III                      ② I — III — II                      ③ II — I — III

④ II — III — I                      ⑤ III — I — II                      ⑥ III — II — I

## 日本史B

**第3問** 中世から近世初期までの政治・社会・文化に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 16)

A 鎌倉時代の武士は、農業経営に適した、自身の所領の要地に館をかまえた。その周辺には、佃・門田などとよばれる直営地をもち、その地の耕作には、隷属する **ア** や自身の所領内の農民を使っていた。彼らは、騎射三物とよばれる、騎射の技術を競う流鏑馬・笠懸・犬追物の訓練を、武士のたしなみとして行っていた。④ この時代の武士の実態は、絵巻物に見ることができる。

一方、武士の中には武術のみではなく、⑥ 学問・文学や宗教・思想に関心をもつ者もいた。幕府がおかれた鎌倉では、将軍や執権の一族を中心に新しい文化が育まれた。**イ** は万葉調の和歌を詠み、『金槐和歌集』を残した。また、北条氏は中国から禅僧を招くなど、禅宗の発展に寄与した。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **13**

- ① ア 足 軽    イ 源頼家
- ② ア 足 軽    イ 源実朝
- ③ ア 下 人    イ 源頼家
- ④ ア 下 人    イ 源実朝

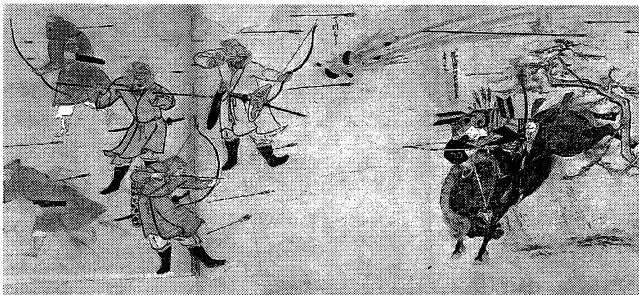
問 2 下線部②に関連して、次の図甲・乙に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

14

甲：『一遍上人絵伝』



乙：『蒙古襲来絵詞』（『蒙古襲来絵巻』）



X 甲には、防御施設を備えた武士の館が描かれている。

Y 乙には、火薬を利用した武器を使う元軍と、日本の武士との戦闘が描かれている。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

## 日本史B

問 3 下線部①について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ  
選べ。 

15
----

- ① 北条義時は学問に関心をもち、和漢の書物を集めた金沢文庫を設けた。
- ② 伊勢神宮の神官度会家行は、本地垂迹説による唯一神道を完成させた。
- ③ 日蓮は、「南無阿弥陀仏」となえると極楽浄土へ往生すると説いた。
- ④ 平氏の興亡を描いた『平家物語』が、琵琶法師により平曲として語られた。

B 1467(応仁元)年、幕府管領家である畠山・斯波両家の相続争いと、将軍家の相続争いが結びつき、諸大名をまきこむ応仁の乱が勃発した。それに引き続いて起こった地方の争乱のなかから、新たな支配者である戦国大名が登場した。彼らのなかには、㉔家臣団の統制や流通の円滑化をはかるため、法を定める者があった(史料1, 史料2)。

戦国時代から近世初期の戦闘方法に注目すると、『長篠合戦図屏風』に描かれた鉄砲隊のように、㉕ヨーロッパ人の日本への来航の影響による変化があった。また、この時期には城にも変化がみられた。㉖防御を優先した山城から、政治経済などの利便性を優先して、城下町をもった平山城・平城へと変化し、大きな石を積み上げた石垣で囲まれるようになった。

### 史料1

朝倉(注1)が館の外、国内に城郭を構えさせまじく候、惣別(注2)分限あらん者(注3)一乗谷(注4)へ引越し、郷村には代官計置かるべき事。

(朝倉孝景条々)

(注1) 朝倉：戦国大名朝倉氏。

(注2) 惣別：総じて。

(注3) 分限あらん者：所領のある者。

(注4) 一乗谷：朝倉氏の居館があった地。

### 史料2

掟

一、市の日一ヶ月

一日 六日 十一日 十六日 二十一日 二十六日

(中略)

一、諸役(注)は一切これあるべからざる事

以上

右、楽市として定め置くところくだん ごとの如し。

(北条氏世田谷新宿楽市掟書)

(注) 諸役：ここでは、市で課せられる税。

## 日本史B

問 4 下線部㉔に関して述べた次の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。 16

- a 史料1では、所領をもつ家臣が一乗谷に住むことを定めている。
- b 史料1では、家臣が自身の所領内に城を築くことを定めている。
- c 史料2では、1か月に6回、市を開く日を定めている。
- d 史料2では、この市での取引に課税するよう定めている。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

問 5 下線部㉕に関して述べた次の文 I ~ III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①~⑥のうちから一つ選べ。 17

- I オランダ船リーフデ号が豊後国に漂着した。
- II スペイン人が肥前国平戸に来航し、日本との貿易を始めた。
- III 種子島に漂着したポルトガル人が鉄砲を伝えた。

- ① I — II — III      ② I — III — II      ③ II — I — III  
④ II — III — I      ⑤ III — I — II      ⑥ III — II — I

問 6 下線部㉖に関して、戦国から近世初期の城・町について述べた文として誤っているものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 18

- ① 織田信長は、近江国に天守閣(天主)をもつ城を築いた。
- ② 豊臣(羽柴)秀吉は、石山本願寺跡に大坂城を築いた。
- ③ 伊勢国の大湊は城下町として栄え、自治的に運営された。
- ④ 浄土真宗の寺院を中心とした寺内町が、建設された。

## 日本史B

**第4問** 近世の政治・社会・文化に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)  
(配点 16)

A 江戸幕府は、1619(元和5)年に大坂を直轄地にし、その周辺に㉓徳川氏一族や譜代大名を重点的に配置した。徳川家康の子頼宣は紀伊国に移され、三家(御三家)の一つである紀伊藩(紀州藩)が成立した。

紀伊藩2代藩主の子として生まれた徳川吉宗は、1705(宝永2)年、兄たちのあいつぐ死により5代藩主となった。吉宗は、儉約と治水事業をすすめる、財政立て直しをはかり、㉔特産品みかんの販路拡大も奨励した。

その後、1716(享保元)年に7代将軍が幼くして亡くなると、三家のうちから吉宗が8代将軍に就任した。吉宗は㉕財政再建をはじめとするさまざまな政治改革を行い、一定の成果をあげた。

問1 下線部㉓に関連して、幕府と大名の関係について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

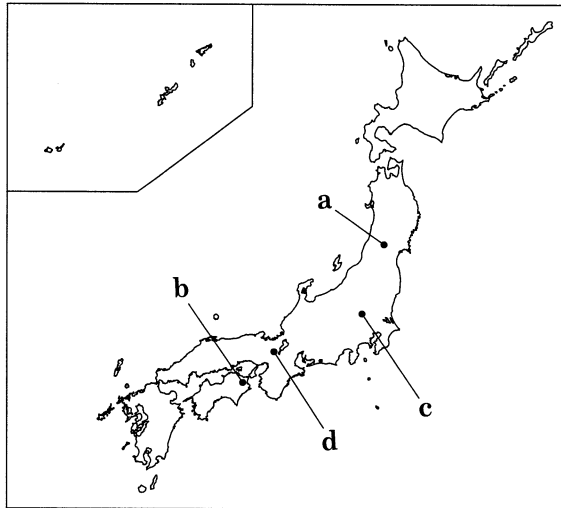
19
----

- ① 大名に、京都への参勤交代を命じた。
- ② 大名を監察するために、目付をおいた。
- ③ 有力な外様大名に、老中の職を独占させた。
- ④ 武家諸法度を制定し、諸大名にその遵守を命じた。

問 2 下線部①に関して、近世の特産品と産地について述べた次の文X・Yと、  
 地図中に示した場所 a～d の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 20

X この地方は、紅花の代表的な産地として発展した。

Y この地では、西陣織など高度な技術にもとづく織物が生産された。



- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — a | Y — c | ② X — a | Y — d |
| ③ X — b | Y — c | ④ X — b | Y — d |

問 3 下線部②に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 21

X 漢訳洋書の輸入制限を強化した。

Y 小石川養生所を設置し、貧民に医療を施した。

- |       |     |       |     |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |



## 日本史B

B ただのまくず 只野真葛(1763～1825)こと工藤あや子は、江戸詰の仙台藩医工藤平助の長女として、江戸に生まれた。工藤平助は海外情勢に詳しく、ロシアに関する研究書や、林子平の著書『**ア**』の序文を書いたことで知られている。

真葛は、仙台藩士と結婚して仙台に移ったのち、彼女の父母やその一族のことを随筆①『むかしばなし』に書き記した。その後、社会の現状を批判した『ひとりかんがえ独考』を書きあげると、出版を決意し、長編小説『**イ**』執筆中の江戸の作家曲亭馬琴(滝沢馬琴)に原稿を送った。しかし、馬琴は真葛の論を批判し、出版はかなわなかった。それでも真葛は、男性の活躍が目立つ江戸時代に、社会に対する批判を自分の言葉で表現し、それを社会に向けて主張しようとした女性として、注目される。

真葛が生きた時代は、②対外危機が認識され始めた時期であるとともに、国内の政治や社会に対する批判があらわれた時代でもあった。

問 4 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **22**

- |   |   |      |   |         |
|---|---|------|---|---------|
| ① | ア | 海国兵談 | イ | 南総里見八犬伝 |
| ② | ア | 海国兵談 | イ | 東海道中膝栗毛 |
| ③ | ア | 慎機論  | イ | 南総里見八犬伝 |
| ④ | ア | 慎機論  | イ | 東海道中膝栗毛 |

問 5 下線部①に関連して、次の史料に関して述べた下の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。 23

## 史料

用人(注1)いう、「我が主人(注2)は、富にも禄にも官位にも不足なし。この上の願いには、田沼老中の時、仕置きたる事とて、ながき代(注3)に人のためになる事をしおきたく願うなり。何わざをしたらよからんか」と問い合わせしに、父様(注4)御こたえに、「それはいかにもよき御心付(注5)なり。さあらば、国を広くする工夫よろしかるべし」。

問(注5) 「それは、いかがしたる事ぞ」。

答(注6) 「それ、蝦夷国は松前より地つづきにて、日本へ世々<sup>したが</sup> <sup>お</sup> 随い居る国なり。これをひらきて、みつぎ物をとる工面をなされかし。日本を広くせしは田沼様のわざとて、永々人の仰ぐべき事よ」。

(只野真葛『むかしばなし』)

- (注1) 用人：ここでは田沼意次の家来。 (注2) 我が主人：田沼意次。  
 (注3) ながき代：後世。 (注4) 父様：工藤平助。  
 (注5) 問：用人の問い。 (注6) 答：工藤平助の答え。

- a 田沼の用人は、主人(田沼)は金もうけや地位の上昇にしか関心がないと述べている。  
 b 田沼の用人は、主人(田沼)は後世に残る仕事をしたいと願っていると述べている。  
 c 田沼は、工藤の意見をふまえ、蝦夷地開発の可能性を調査するため、最上徳内らを同地に派遣した。  
 d 田沼は、工藤の意見をふまえ、蝦夷地・松前に近づく外国船を打ち払うよう命じた。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

## 日本史B

問 6 下線部㊦に関連して、19世紀前半の対外関係の事件・事項について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

24
----

- ① 宣教師シドッチが、蝦夷地に潜入して捕らえられた。
- ② 商人高田屋嘉兵衛が、ロシアによって抑留された。
- ③ オランダ商館医シーボルトが、鳴滝塾を開いた。
- ④ イギリス船フェートン号が、長崎に侵入した。

## 日本史B

第5問 明治期の地方制度に関する次の文章を読み、下の問い(問1～4)に答えよ。(配点 12)

明治新政府は、㉑ 戊辰戦争のさなか、各地で旧幕府領を接收する一方、諸大名にも自らに従うよう求めた。直轄地には府と県をおき、大名領を藩として、当初は、従来どおり大名の所領支配を容認した。1871年には、薩摩・長州・の3藩の軍事力を背景に廃藩置県を断行し、各府県には府知事や県令を中央から派遣し、支配にあたらせた。

府県の下の行政区画については、政府は大区小区制を導入したが、全国で統一的に施行されたわけではなかった。1878年には、これを廃止し、都市部を区、その他を郡とし、その下に町村をおくを施行した。そして、郡・区に郡長・区長、町村に戸長がおかれた。

1888年、㉒ 政府は、顧問として雇ったドイツ人モッセの助言を得て、市町村を自治体として認める市制・町村制を制定し、ついで1890年には府県制・郡制を定めた。この時期には㉓ 中央の制度改革もさかんに行われている。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 越前 イ 郡区町村編制法
- ② ア 越前 イ 地方自治法
- ③ ア 土佐 イ 郡区町村編制法
- ④ ア 土佐 イ 地方自治法

問 2 下線部㉔の時期の新政府がとった施策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 五箇条の誓文を公布し、四民平等を定めた。
- ② 五榜の掲示を出し、キリスト教を許可した。
- ③ 政体書を制定し、中央政府の組織を整えた。
- ④ 徴兵令を出し、集めた兵によって旧幕府軍と戦った。

問 3 下線部㉕に関連して、お雇い外国人に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

27

X ロエスレルは、大日本帝国憲法の起草にあたり助言した。  
 Y フェノロサは、日本の伝統美術の復興につとめた。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

問 4 下線部㉖に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 28

Ⅰ 太政官制が廃され、内閣制度が定められた。  
 Ⅱ 天皇の最高諮問機関として枢密院が設置された。  
 Ⅲ 欽定憲法として大日本帝国憲法が発布された。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ
- ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ
- ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ
- ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ
- ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

## 日本史B

**第6問** 日本とオリンピックとのかかわりに関する次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 24)

A 日本がはじめてオリンピックに参加したのは1912年の第5回ストックホルム大会で、日本選手はわずか2名であった。1920年代になると①国際連盟や多国間の条約のもとで国際平和がめざされるなか、オリンピックには参加国が増え、内容も充実していった。しだいに日本選手の競技力も高まり、第9回アムステルダム大会(1928年)では、2選手が金メダルを獲得し、初の女性選手である人見絹枝ひとみ きぬえも銀メダルを獲得する活躍をみせたのである。

こうしたなか、②関東大震災からの復興を遂げた東京ではオリンピック誘致の気運が高まり、1931年の市会による建議をうけて、オリンピック開催都市に名乗りをあげた。翌年の第10回ロサンゼルス大会に際しては、③満州事変後の厳しい国際世論のなかにあつて、日本は前回の3倍を超える大選手団を送り込み、好成績を収めた。政情不安や不況が続くなか、国民は国際舞台での日本選手の活躍に喝采を送った。

問1 下線部①に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

29
----

- ① 日本はアメリカ、イギリス、ロシアとともに国際連盟の常任理事国となった。
- ② アメリカの呼びかけに応じ、加藤友三郎内閣はワシントン会議への参加を決めた。
- ③ 四か国条約では、中国の主権尊重や各国の経済上の機会均等などが取り決められた。
- ④ 不戦条約(パリ不戦条約)では、国家の政策の手段としての戦争を放棄することが宣言された。

- 問 2 下線部①に関連して、関東大震災後の都市文化に関する次の図甲・乙に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 30

甲

乙



- X 甲の著者は、プロレタリア文学運動の代表的な作家の一人である。  
Y 乙は、新劇の劇団による公演のポスターである。

- ① X 正 Y 正                      ② X 正 Y 誤  
③ X 誤 Y 正                      ④ X 誤 Y 誤

- 問 3 下線部③に関連して、満州事変前後の出来事に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 31

- I 犬養毅首相が海軍将校らに殺害された。  
II 日中両軍の間で塘沽停戦協定が結ばれた。  
III 金輸出を解禁し、金本位制に復帰した。

- ① I — II — III                  ② I — III — II                  ③ II — I — III  
④ II — III — I                  ⑤ III — I — II                  ⑥ III — II — I

## 日本史B

B 1936年の国際オリンピック委員会(IOC)総会で、東京はヘルシンキを破り、1940年大会の開催都市に選ばれた。この総会のあと引き続いて開幕したベルリン大会では、㉑植民地出身者も日本選手団の一員として出場しており、朝鮮出身のマラソン選手孫基禎(ソンギジョン)が金メダルを獲得した。このときのラジオの実況放送は、「日本マラソンの四半世紀にわたる悲願が今や達成されました」と伝えた。この大会はまた、ナチス・ドイツの国威発揚と対外宣伝の舞台となり、『民族の祭典』と題された記録映画も制作された。㉒マス・メディアの発達は、ナショナリズムを高揚させる要因ともなった。

日中戦争が始まると、東京はオリンピックを辞退すべきであるとの声が国内外からあがり、第1次近衛文麿内閣は東京大会の中止を決定した。内閣はその理由を㉓「今や支那事変の推移は、長期戦の備えを一層堅くするがために物心両面にわたり、ますます国家の総力をあげて、事変の目的達成に一路邁進するを要する情勢にある」(『東京朝日新聞』1938年7月16日)ためだと説明した。

問 4 下線部㉑に関連して、日本の朝鮮支配に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

32
----

- ① 初代朝鮮総督には寺内正毅が就任した。
- ② 朝鮮総督府は防穀令を出して、日本内地への米穀移出を禁じた。
- ③ 三・一独立運動を鎮圧したのち、朝鮮総督府は憲兵警察制度を廃止した。
- ④ 日中戦争期には、神社参拝や日本語の使用が強制された。



問 5 下線部㉔に関連して、1930年代のマス・メディアに関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 33

X 日本でもトーキー映画が制作・上映されるようになった。  
 Y ラジオから流れる美空ひばりの歌謡曲が人気を博した。

- |       |     |       |     |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

問 6 下線部㉕に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 34

- a 日中戦争は「大東亜共栄圏の建設」を目的として開始された。
- b 近衛首相による「国民政府を対<sup>あいて</sup>手とせず」との声明は、同政府との交渉による和平の道を閉ざした。
- c 「挙国一致」をスローガンに、国民の戦意高揚と戦争協力を促す運動が行われていた。
- d 日中戦争勃発後、ただちにアメリカは石油の対日輸出を禁じた。

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| ① a・c | ② a・d | ③ b・c | ④ b・d |
|-------|-------|-------|-------|

## 日本史B

C 第二次世界大戦後最初のロンドン大会には、㉔連合国の占領下にあった日本は参加できなかった。しかし講和条約が発効すると、ヘルシンキ大会で復帰を果たすとともに大会招致活動にも取り組み、その結果1964年オリンピック大会の東京開催が決まった。敗戦後の荒廃から復興した姿を世界にアピールすべく、準備には国家の威信をかけて取り組んだ。競技施設のほかに、鉄道や道路などに膨大な社会資本投資が行われ、経済成長を後押しした。

国民がオリンピックに熱狂するさなか、新聞には次のような投書が掲載された。

この部分につきましては  
著作権処理中の為  
現在公開できません

このように、㉕高度経済成長のひずみがあらわになり始めていたのである。

問7 下線部㉔に関連して、占領下に行われた農地改革に関する次の法律の条文に関して述べた下の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 35

第一条 この法律は、耕作者の地位を安定し、その労働の成果を公正に享受させるため ア を急速且つ広汎に創設し、<sup>もつ</sup>以て農業生産力の発展と農村における民主的傾向の促進を図ることを目的とする。

- a 空欄 ア に入る語句は「自作農」である。
- b 空欄 ア に入る語句は「兼業農家」である。
- c この改革により、地主の土地所有面積が制限された。
- d この改革の結果、寄生地主制が温存された。

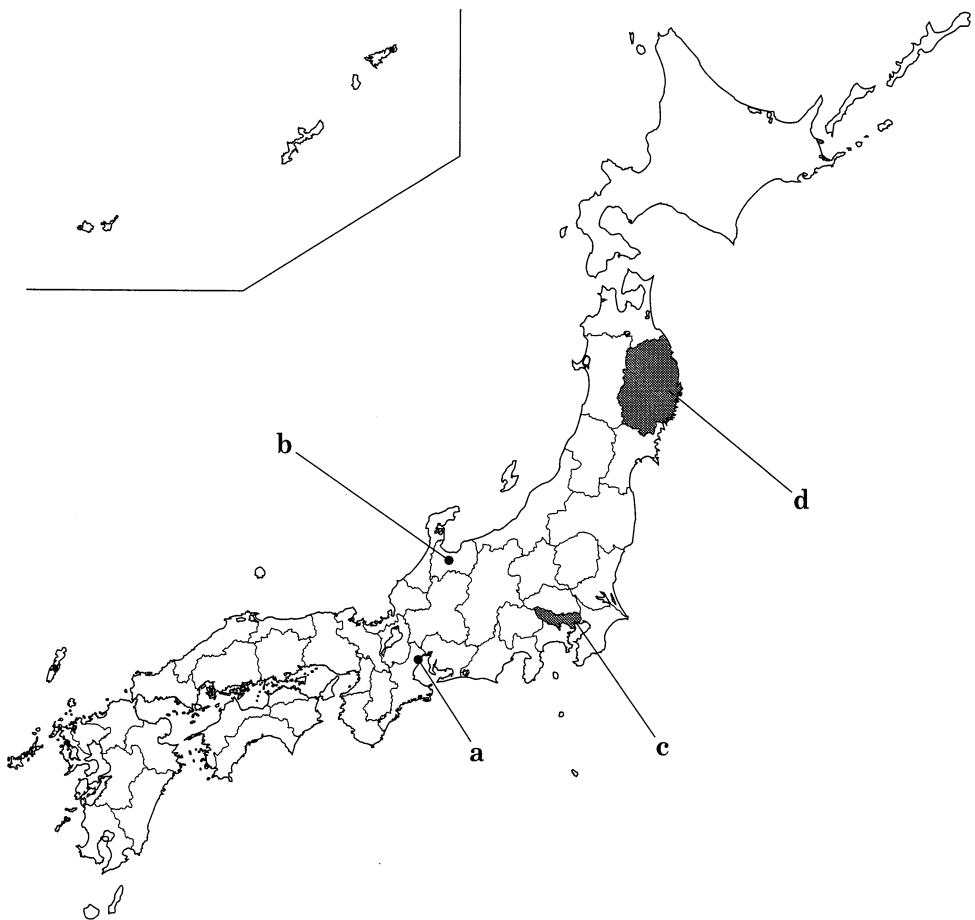
- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

問 8 下線部①に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する下の地図上の位置a～dの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

36

X 石油化学コンビナートによる大気汚染を原因とする公害病が発生した。

Y 革新勢力の支持を受けて当選した美濃部亮吉知事が、公害規制や福祉政策に取り組んだ。



- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — a | Y — c | ② X — a | Y — d |
| ③ X — b | Y — c | ④ X — b | Y — d |

問題と解答は、独立行政法人 大学入試センターホームページより転載しています。  
ただし、著作権上の都合により、一部の問題・画像を省略しています。